

福田小学校だより

NO. 21

平成31年

3月 4日

文責：学校長

しめくくりの3月



平成30年度も残りわずかとなりました。学校では、「6年生を送る会」を、5年生が中心となり、子どもたち一人一人が主体性を発揮して進めることができました。また、来週からは6年生が先陣を切って「卒業式」の練習をスタートさせます。

今年度から、子どもたちの「将来の自立」を見据えて、「児童が自分で考え、自分で行動し、自分で振り返る」という過程を大切にして取り組んできましたが、1年間で成し遂げられるようなものでは到底ありません。しかし、少しずつではありますが、子どもたちの姿から、その成果が着実に見えるようになってきています。今年度最後の行事である卒業式でも、「どんな式にしたいか」、そのために「自分は何をどうがんばるのか」を学年に応じて考え、目的意識を持たせて練習に取り組んでいきます。

■新1年生体験入学

先週の火曜日に、新年度入学予定の23名の園児が来校しました。学校紹介や学校探検、外遊び、クイズなど、現1年生が新1年生を「おもてなし」しました。園児たちは、見慣れない大きな校舎や階段、運動場に興味津々で、目を輝かせていました。そして、4月の入学を心待ちにしている様子でした。



振り返ると、今の1年生もちょうど1年前、同じように体験入学にやってきましたが、その時から比べると本当にしっかりしてきて、子どもの1年間の成長の大きさに驚くばかりです。

ちなみに、来年度の福田小の児童数は、23名の6年生が卒業し、新たに23名の1年生が入学しますので、今年度と変わらず116名となる予定です。

ばとうきん

■馬頭琴の演奏

本校の2年生は、毎年、国語『スーホの白い馬』の学習の一環で、春蘭(しゅんらん)さんという方をお招きし、モンゴルについてのお話と馬頭琴の演奏を聴かせていただいています。

モンゴルには、相撲の朝青龍や白鵬で有名な「外モンゴル」と、中国の自治区になっている「内モンゴル」があります。春蘭さんは内モンゴルのご出身で、モンゴル音楽大学卒業後、15年ほど前に来日され、神戸大学や兵庫教育大学の留学生として学ばれました。現在は馬頭琴演奏家として各地で演奏活動を行っておられます。

馬頭琴は持ち手が馬の頭の形をしていて、弦は2本で、外弦(低い音)は120本の細弦で、内弦(高い音)は80本の細弦でできています。弦と弾く弓は、どちらも馬の尻尾で作られていましたが、弦は今はナイロン製になっているそうです。

子どもたちは、モンゴルの最低気温がマイナス30度にもなることやゲル(移動式住居)の組み立て、見渡す限りの大草原などの話を大変興味深げに、そして馬頭琴の演奏は、『スーホの白い馬』の話を思い出しながら聴き入っていました。

また、馬頭琴には種類や大きさがあり、たくさんの馬頭琴での多重奏もあるらしく、学校オープンの芸術鑑賞会で保護者や地域の方に聴いていただくのもいいかな、と考えているところです。



■「どうなる？平成後の日本！」(6年生の社会科学習)

6年生が社会科学習の総まとめとして、「自分が気になっている社会の問題や出来事」について調べ、その原因や予想、また解決方法などを自分なりに考え、まとめる活動に取り組んでいます。そして、一人一人がパソコン(パワーポイント)を用いて、4・5年生にプレゼンをする予定でした。しかし、さらに、「6年生ががんばっているのだから、お家の方にも聞いてもらおう」ということになりました。

そこで、6年生の保護者の方には、大変急で申し訳ないのですが、3月11日(月)と12日(火)の5・6校時のプレゼン(発表会)を自由参観としますので、可能な範囲でご都合をつけていただき、4・5年生と一緒にお子さんの発表をお聞きくださりたく何卒よろしくお願いします。(先日、発表会の詳細プリントを持ち帰っています。)

★プレゼンのテーマの紹介(種類別)

- | | | | | | | | |
|------|-----|--------|-----|--------|------|-------|-----|
| ・消費税 | ・AI | ・地球環境 | ・医療 | ・外国人労働 | ・災害 | ・犯罪 | ・戦争 |
| ・水道 | ・領土 | ・少子高齢化 | ・食糧 | ・著作権 | ・ゲーム | ・技術革新 | |